

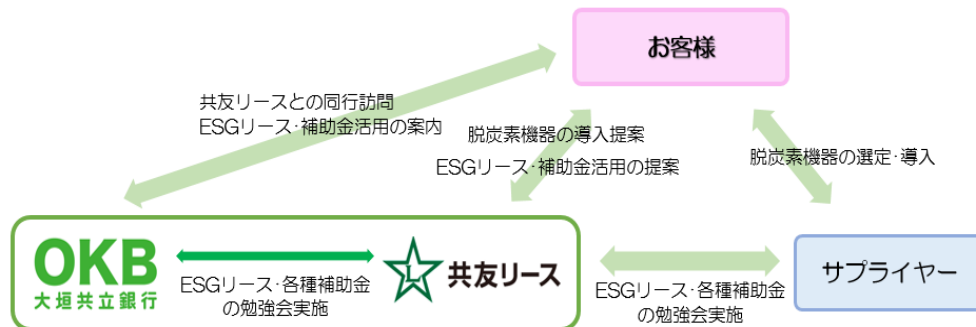
持続可能な地域社会実現に向けた脱炭素化と補助金活用の推進

【申請No.4】

共友リース株式会社

1. 取組の概要

お客様の脱炭素経営を支援するため、OKB グループやサプライヤーと連携し ESG リースや各種補助金制度を活用するなど脱炭素や省エネに係る機器の導入提案を推進。
また、自治体の脱炭素化事業にも積極的に参画し、広域的かつ多層的な取り組みを展開。



2. 取組の目的

OKB グループは「地域循環型社会の担い手として、持続可能な地域づくりに貢献する」ことをサステナビリティ基本方針としている。

共友リースとしては ESG リースの推進、各種補助金活用のノウハウ、そしてファイナンス機能を融合させた総合的・複合的な支援を通じて脱炭素への社会的責任を果たす。

3. 取組のポイント

<補助金活用に関する専門性>

脱炭素や省エネ関連機器に係る各種補助金の活用支援においては、長年にわたり専任部署を設置し、豊富な実績とノウハウを蓄積。お客様の事業環境や課題に即した的確かつタイムリーな提案を可能とする体制を整備。

<地域自治体への展開>

民間企業だけでなく、自治体の脱炭素化事業にも多数参画し、広域的かつ多層的な取り組みを推進。LED 照明、太陽光、蓄電池など脱炭素化及び BCP 対応への支援を展開。

<サステナブルファイナンスの取組み>

営業活動にとどまらず、資金調達においても ESG 要素を重視。地銀系リース会社として初となるサステナビリティボンドの発行や、環境改善に資する事業に用途を限定したグリーンローンの調達を実施するなど持続可能な金融ソリューションを展開。

4. 今後の展望

今後も地球環境との共生が持続可能な社会の基盤となることを認識し、自然豊かな環境を未来に引き継ぐため、気候変動問題や環境保全活動に積極的・継続的に取り組んでいきたい。

以上